



Polo

クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください



Polo に関する資料

本書



クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。

ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。

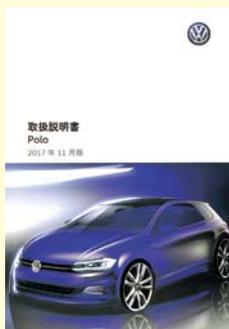
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

QR コードについて

本書内で QR コードが表示されている機能は、動画で機能の説明を確認することができます。

QR コード対応の携帯電話から QR コードを読み取ると、各機能の動画による説明が閲覧できます。

動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。



取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。

本書と合わせて必ずお読みください。

Polo

クイックユーザーガイド

目次

運転の前に

運 転

便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

目次

外観	4
内装	8

1. 運転の前に 12

運転準備	12
リモコンキー	12
スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”	13
ドア	14
シートの調整	15
センターアームレストの調整	16
ステアリングホイールの調整	17
ミラーの調整	18
シートベルト	21

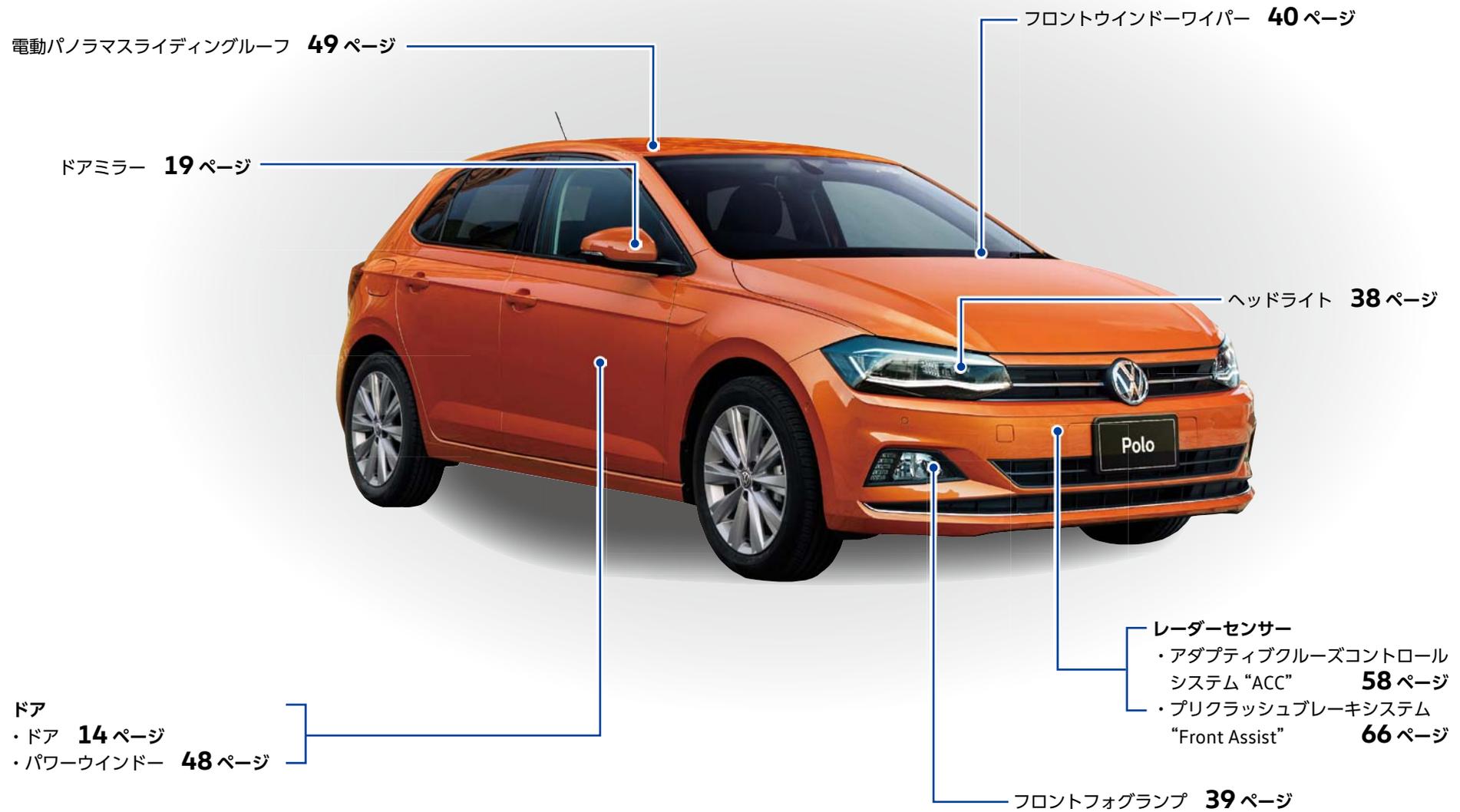
2. 運転 24

運転する	24
コンビネーションメーター	24
警告灯および表示灯	26
ディスプレイ表示 / 情報プロファイル	29
エンジンの始動・停止	32
シフト操作	34
パーキングブレーキ	36
Start/Stop システム	37
ライト	38
方向指示器	39
非常点滅表示灯	40
ウインドーワイパー、ウォッシャー	40
燃料の給油	42

3. 便利な機能 44

室内装備	44
マニュアルエアコンディショナー	44
フルオートエアコンディショナー	46
パワーウインドー	48
電動パノラマスライディングルーフ	49
チャイルドシート	50
エアバッグ	51
ルームランプ、リーディングランプ	52
12V ソケット	52
荷物の積載	53
ラゲージルーム	53
運転支援	55
インフォテイメントシステム	55
アダプティブクルーズコントロールシステム “ACC”	58
ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）	61
リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）	62
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”	64
プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist” （歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付）	66
ESC（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール）	68
プロアクティブ・オキュパント・プロテクション	69
タイヤモニタリングシステム	70
パークディスタンスコントロール	71
リヤビューカメラ “Rear Assist”	73
駐車支援システム “Park Assist”	74

| 外観

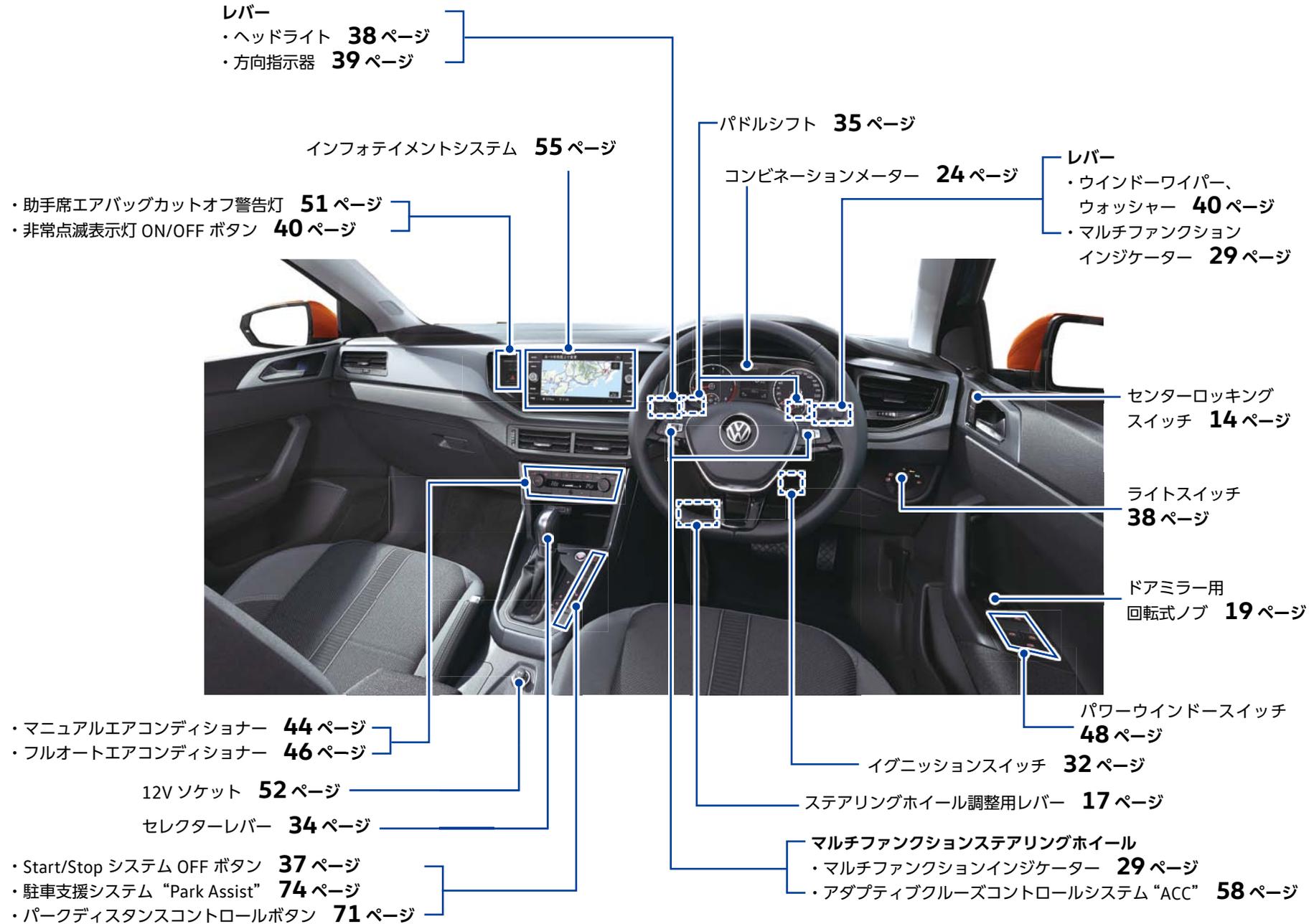


リヤウインドー

- ・リヤウインドーワイパー **41 ページ**
- ・リヤウインドーヒーター **45、47 ページ**

テールゲートオープナー **53 ページ**テールライト **38 ページ**リヤビューカメラ “Rear Assist” **73 ページ**フューエルリッド **42 ページ**

内装



ルームランプ、リーディングランプスイッチ **52** ページ



ルームミラー **18** ページ

電動パノラマスライディングルーフスイッチ **49** ページ

シートベルト **21** ページ

フロントシート

- ・マニュアルシート **15** ページ
- ・ヘッドレスト **15** ページ

リヤシート

- ・可倒式リヤシート **54** ページ
- ・ヘッドレスト **16** ページ
- ・ISOFIX
チャイルドシート **50** ページ

エンジンスタート/ストップボタン **33** ページ



パワーウィンドウスイッチ **48** ページ

ハンドブレーキレバー **36** ページ

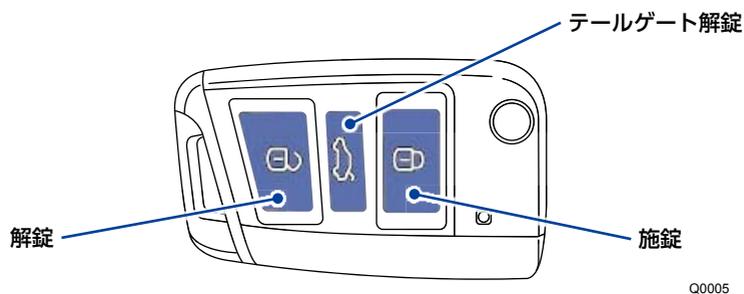
フロントセンターアームレスト **16** ページ

運転の前に

運転準備

リモコンキー

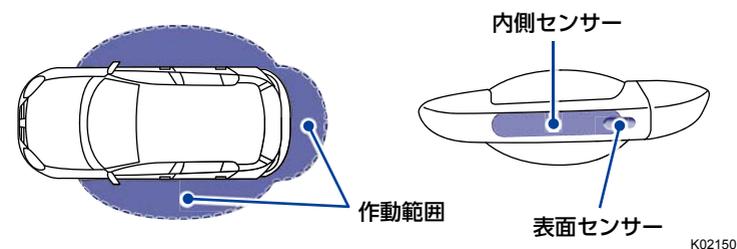
リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



- 施錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
 - 解錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
 - テールゲート解錠ボタン… テールゲートのみ解錠します。
- 解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



- 表面センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

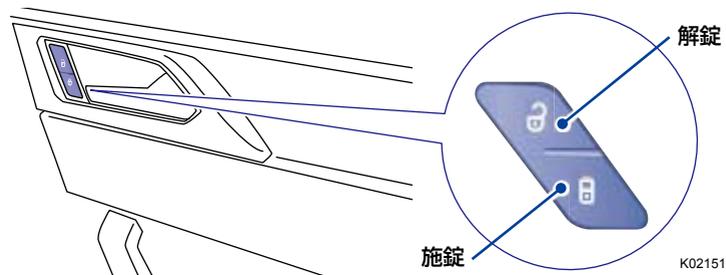
解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示器が4回点滅し、ドアを施錠できません。

ドア

センターロッキング

車内からは、運転席のドアについているセンターロッキングスイッチで施錠、解錠ができます。

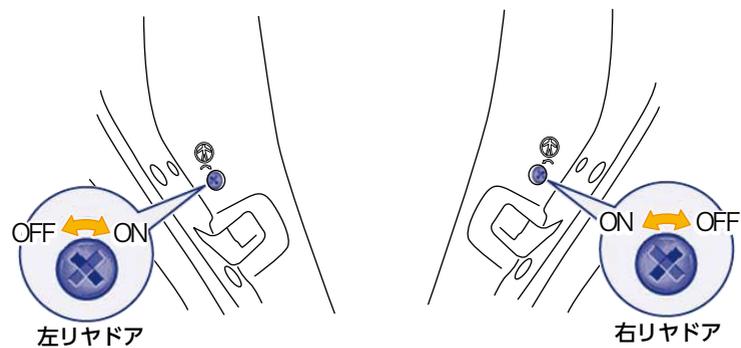


自動施錠 (オートロック)

15km/h 以上で走行すると、自動的に施錠されます。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

チャイルドプルーブロック

お子様などが誤ってドアを開けないようにする機能です。ONになっているときには、リヤドアを車内から開けることができません。ON/OFF を切り替えるには、キーを差し込んで回します。

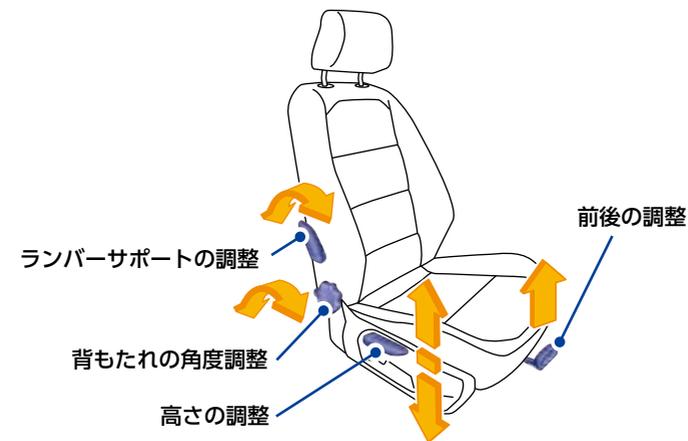


K02152

シートの調整

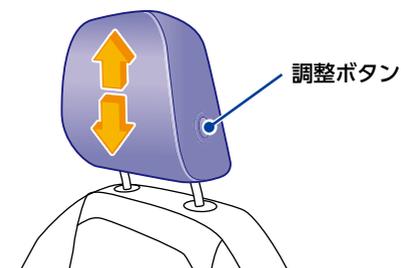
マニュアルシートの調整

シートの高さ、前後、背もたれの角度、ランバーサポートを調整することができます。



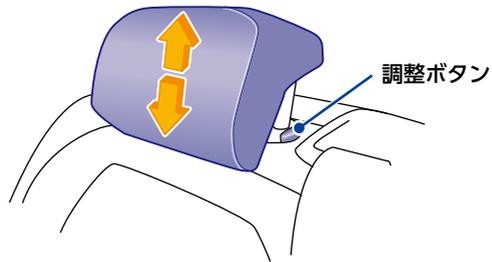
ヘッドレストの高さ調整 (フロントシート)

高さを調整することができます。調整ボタンを押しながら上げる、または下げてください。



ヘッドレストの高さ調整 (リヤシート)

高さを調整することができます。
そのまま引き上げます。下げる場合は調整ボタンを押しながら、下げてください。

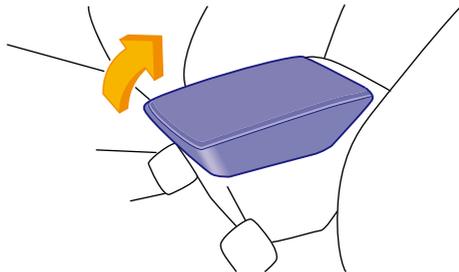


K02155

センターアームレストの調整

フロントセンターアームレスト

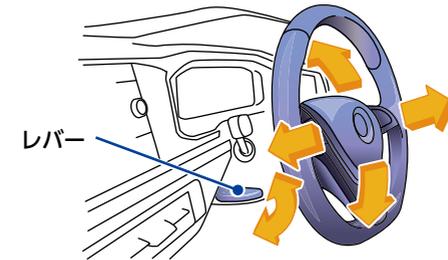
角度を調整することができます。
上げるときは、先端を持ち上げます。



K02156

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



K02157

操作 手順

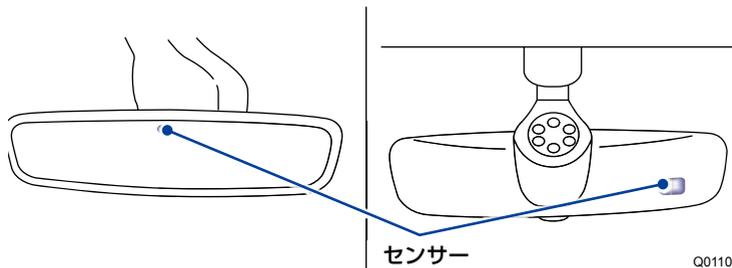
- 1 レバーを下げます。
- 2 ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
- 3 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

ミラーの調整

自動防眩ルームミラーの調整

センサーにより周囲の明るさを検知し、後続車のヘッドライトがまぶしいときは自動的に明るさを抑えます。

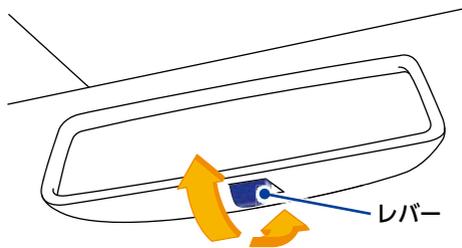
セレクターレバーが“R”の位置にある時は、自動防眩機能は作動しません。



手動防眩ルームミラーの調整

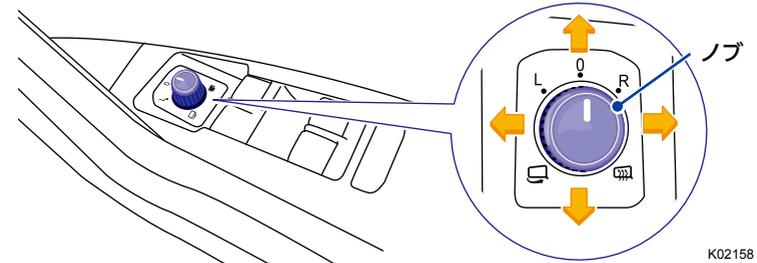
レバーをフロントウインドー側に倒した状態で、ミラーの基本位置を調整してください。

夜間の走行中、後方の車両のヘッドライトが眩しい場合、レバーを手前に引いてください。



ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。

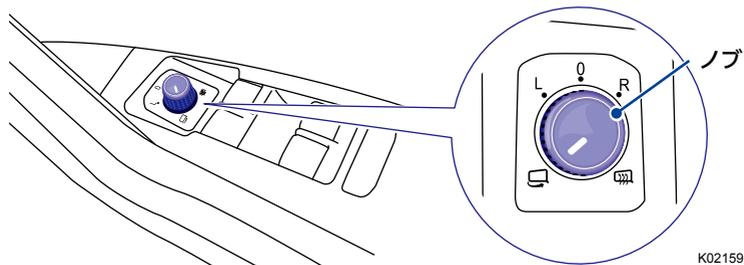


操作手順

- ① ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
- ② ノブを上下、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
- ③ ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

ドアミラーの格納

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。

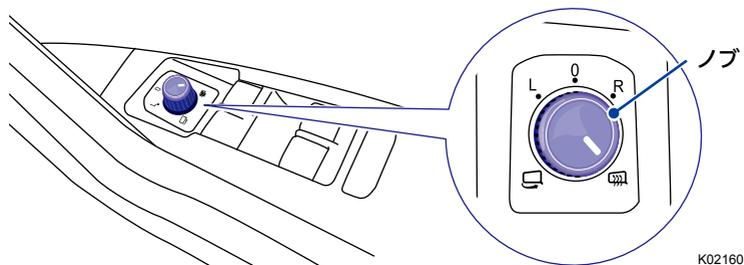


K02159

車両をリモコンキー、またはスマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”で施錠することでも自動的に格納されます（イグニッションスイッチを“ON”にすると復帰）。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、外気温度が 20℃を下回る場合にドアミラーヒーターが作動します。



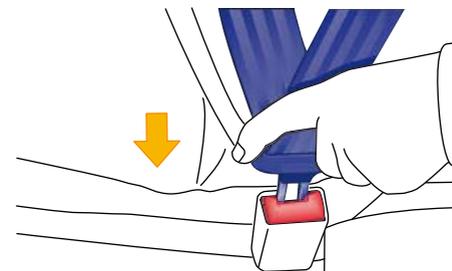
K02160

シートベルト

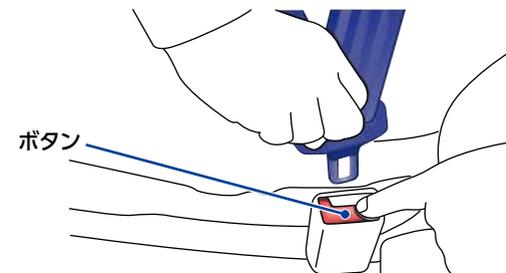
全席に3点式シートベルトが装備されています。

シートベルトの取り付け、取り外し

バックルに差し込むと自動的に固定されます。

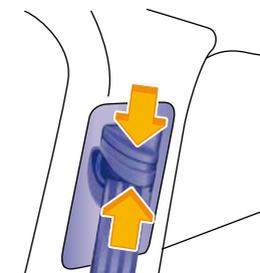


バックルのボタンを押すと外れます。



シートベルトの高さ調整（フロントシート）

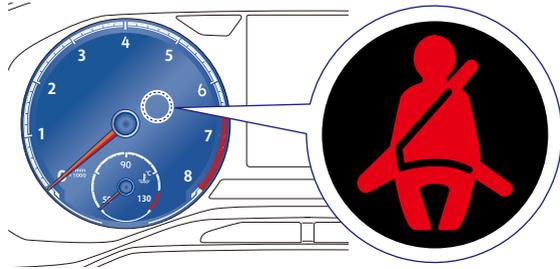
ベルトガイドをつまんで高さを調整してください。



K02161

シートベルト警告灯

運転席、助手席の乗員がシートベルトを着用せずに 25km/h 以上で走行すると、コンビネーションメーター内の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。



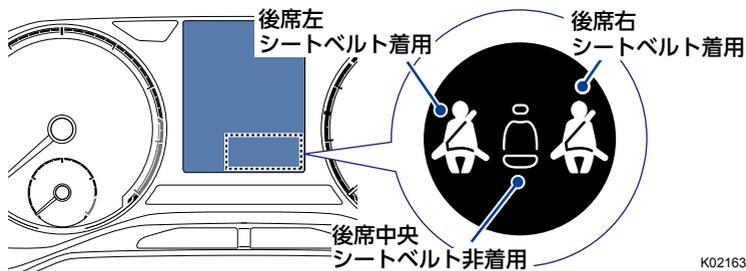
K02162

助手席の上に物が置いてある場合も、乗員がいると判断し、警告灯が点灯します。

助手席に置いてある物を別の場所に置き直すか、シートベルトで固定してください。

後席シートベルト着用表示

イグニッションスイッチを ON にしたあと、後部座席でシートベルトが着用されているかどうか、コンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。



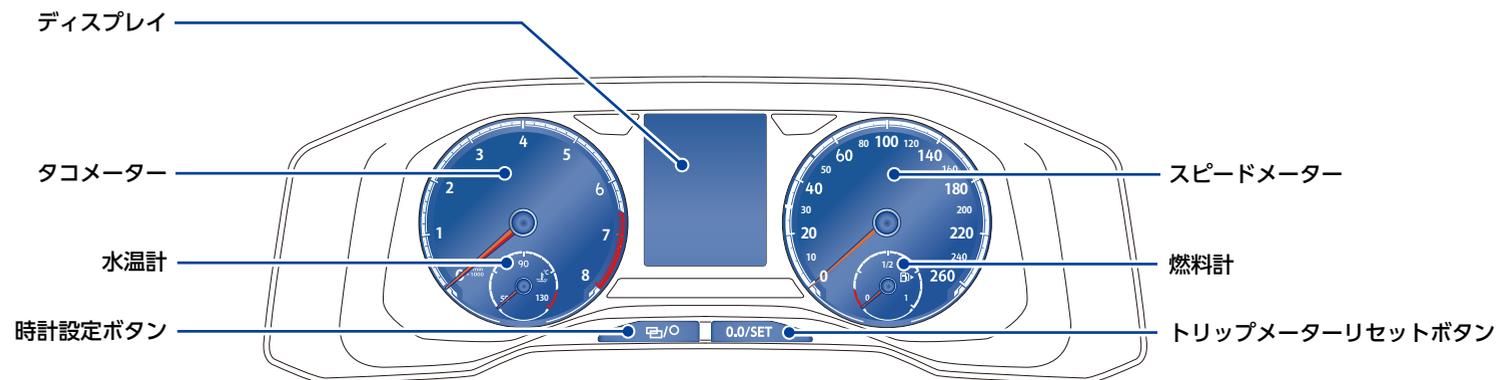
K02163

走行中に後席シートベルトが外された場合、この後席シートベルト着用表示が点滅します。車速が 25km/h 以上になるとさらに警告音が鳴ります。

運転

運転する

コンビネーションメーター



K02164

時計の設定方法

操作 手順

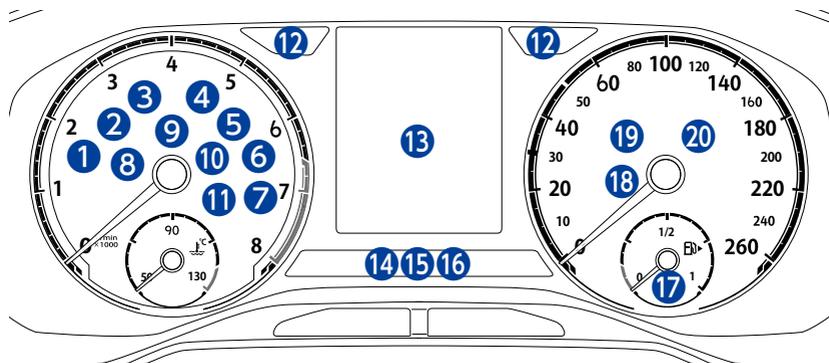
- 1 時計設定ボタンを押します。
- 2 時表示がハイライトされますので、時を変更する場合はトリップメーターリセットボタンを押して正しい時を設定してください。
- 3 もう一度時計設定ボタンを押すと、分表示がハイライトされますので、分を変更する場合はトリップメーターリセットボタンを押して正しい分を設定してください。
- 4 もう一度時計設定ボタンを押すと、時計設定が完了します。

時計はインフォテインメントシステムでも設定することができます。

走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。トリップメーターリセットボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

警告灯および表示灯



K02166

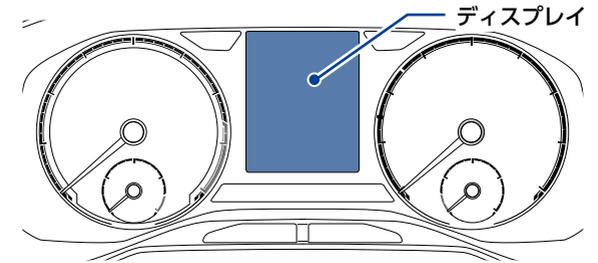
位置	シンボル	意味
1		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
2		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
2		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
3		エンジン制御システム故障
4		エキゾーストシステムの故障
5		点灯：システムによる ESC OFF 点滅：ESC 作動中
6		ABS 故障
7		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
8		ハイビーム点灯
9		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
10		前席シートベルト非着用
11		ASR OFF
12		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
13		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
13		ライトのバルブ切れ

位置	シンボル	意味
13		エンジン回転数制限
13		ウインドーウォッシャー液量少
13		レイン / ライトセンサー故障
13		ワイパー故障
13		エンジンオイルシステム故障、エンジンオイル量の過不足
13		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
13		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動停止
13		プリクラッシュブレーキシステム OFF
13		トランスミッション故障 オーバーヒート
13		アダプティブシャシーコントロール (DCC) 故障
13		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
13		後席シートベルト非着用
13		後席シートベルト着用
13		冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
13		エンジンオイル油圧低下
13		充電系統故障
13		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車未検知
13		白色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非作動
13		スピードリミッター作動
13		サービスリマインダー、点検時期
13		外気温度 4°C 以下
13		Start/Stop システム エンジン自動停止機能が ON
13		Start/Stop システム システムが作動不可、システムによってエンジンが自動再始動

位置	シンボル	意味
13		低燃費走行状態
13		取扱説明書を確認してください
14		ハンドブレーキ作動中
15		ディスプレイの表示を確認してください
15		ディスプレイの表示を確認してください
16		点灯：スピードリミッター ON、 アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動中 点滅：スピードリミッター設定速度超過
17		燃料残量少
18		ブレーキパッド摩耗
19		リヤフォグランプ点灯
20		ブレーキペダルを踏んでください
20		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください

ディスプレイ表示 / 情報プロフィール

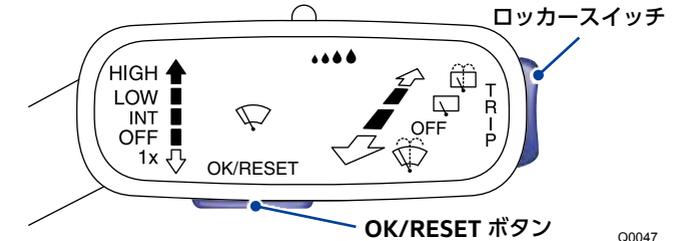
コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。



K02168

レバーでの操作

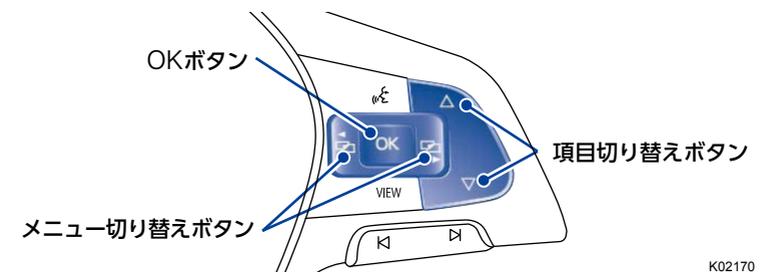
ディスプレイの表示は、ステアリングホイール右側のレバーについているロッカースイッチの上下および OK/RESET ボタンで操作します。



Q0047

マルチファンクションステアリングホイールでの操作

ディスプレイの表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



K02170

メニュー	項目
ナビゲーション	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
オーディオ	
電話	
車両ステータス	警告 / 情報テキストを表示します。

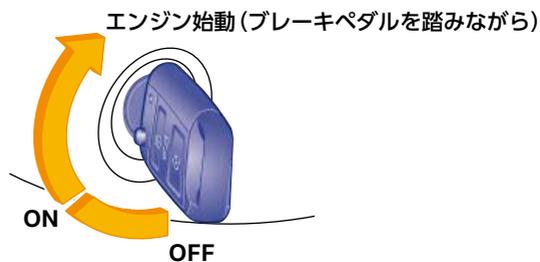
※：以下の3種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

- スタート後
イグニッションスイッチをONにしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチOFF後、約2時間経過するとリセットされます。
- 給油後
前回給油以降のデータを表示します。給油するとリセットされます。
- 累計走行データ
長期間のデータを表示します。積算での走行時間が20時間、もしくは100時間、または走行距離が2,000km、もしくは10,000kmに達する毎にリセットされます。(仕様によって異なります)

エンジンの始動・停止

イグニッションスイッチ

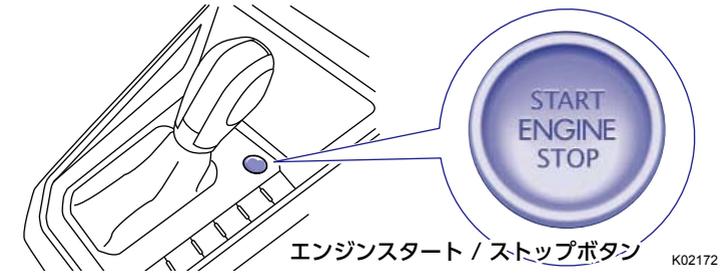
ステアリングコラム右側のイグニッションスイッチでエンジンを始動・停止します。



Q0022

エンジンスタート/ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート/ストップボタンで、エンジンを始動・停止します。

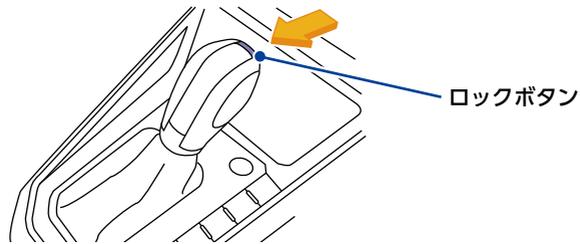


目的	操作
エンジン始動	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。
エンジン停止	エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



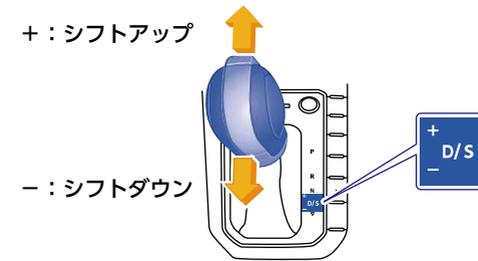
K02173

“D”と“S”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/S	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム S：スポーツプログラム
▽	“D”と“S”を切り替えるとき
+ -	ティプトロニック（マニュアルモード）

ティプトロニック（マニュアルモード）

セレクターレバーを“D/S”の位置から左側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“+”（前方に押す）でシフトアップ、“-”（後方に引く）でシフトダウンします。

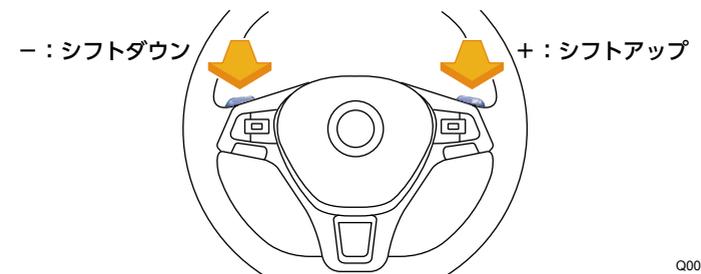


K02174

オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを右側に戻してください。

パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。右側のパドルレバー“+”を手前に引くとシフトアップ、左側のパドルレバー“-”を手前に引くとシフトダウンします。



Q0041

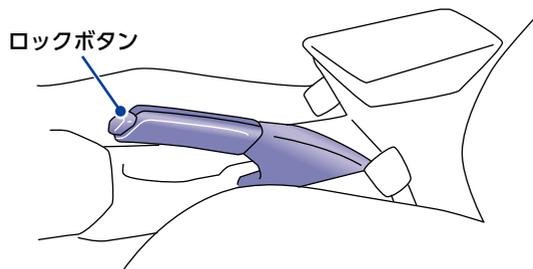
セレクターレバーが“D/S”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“+”を約1秒間、手前に引いてください。

パーキングブレーキ

ハンドブレーキ

ハンドブレーキをかけるには、ハンドブレーキレバーを上方に引き上げます。

ハンドブレーキを解除するには、ハンドブレーキレバーを少し引きながらロックボタンを押して、ハンドブレーキレバーを下ろします。



K02175

Start/Stop システム

Start/Stop システムは、信号待ちや渋滞などで停止しているとき、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。

車両を停止させたあと、ブレーキペダルを踏み続けると、エンジンが自動停止します。

自動停止中にブレーキペダルを放す、またはアクセルペダルを踏むと、エンジンが自動再始動します。

エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。



…… エンジン自動停止機能が ON



…… システムが作動不可、システムによってエンジンが自動再始動

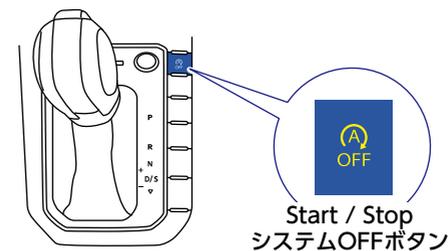
自動再始動できない場合、セレクターレバーを“P”に戻してから手でエンジンを始動してください。

自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は取扱説明書の「スタートアシストシステム」を参照してください。

Start/Stop システムの機能停止

Start/Stop システムの機能を停止する場合は、セレクターレバー横の Start/Stop システム OFF ボタンを押します。

OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。

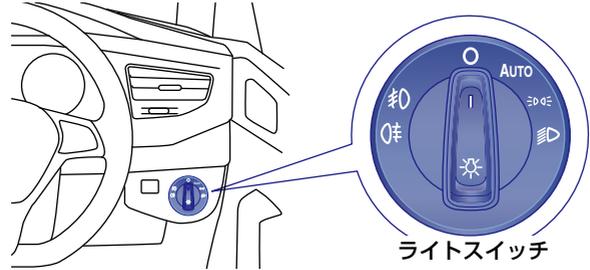


K02176

ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



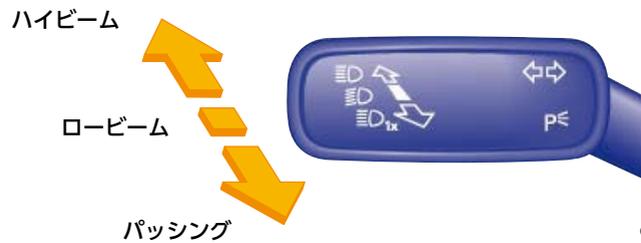
ライトスイッチ

K02177

- 0** ……ヘッドライト消灯
- AUTO** ……周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯
- ☾☽** ……スモールライト点灯
- ☽** ……ヘッドライト点灯（ロービーム）

ステアリングホイール左側のレバーを前方に押すとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。

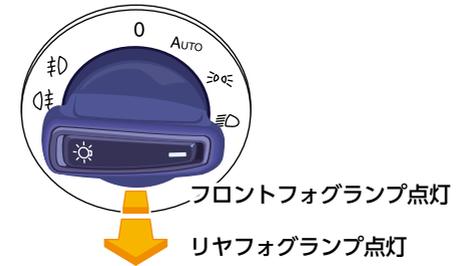
レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。（パッシング）



Q0024

フォグランプ

ライトスイッチがAUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプを点灯します。



フロントフォグランプ点灯

リヤフォグランプ点灯

Q0027

- 手前に1段階目 …… フロントフォグランプ点灯
- 手前に2段階目 …… リヤフォグランプ点灯

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。



右側が点滅

左側が点滅

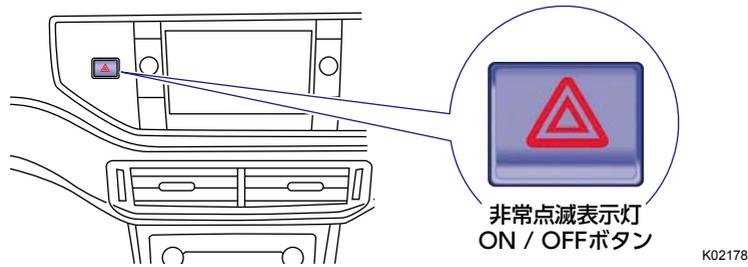
Q0028

車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が3回点滅します。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

非常点滅表示灯

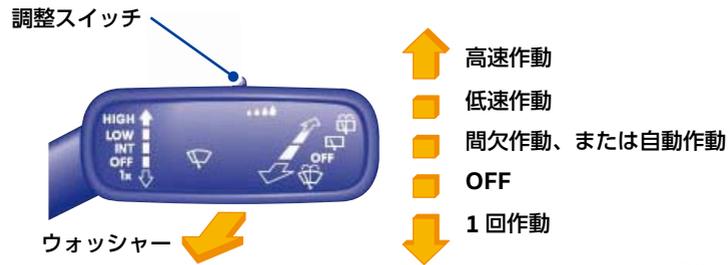
センターコンソールの非常点滅表示灯 ON/OFF ボタンで非常点滅表示灯を点滅します。



ウインドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。



ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。
調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。
レインセンサー装備車は、インフォテインメントシステムで自動作動の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。



ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーが ON のときにセレクトレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

燃料の給油

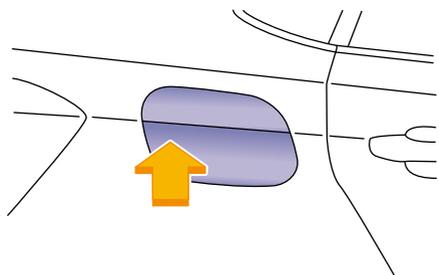
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。

- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクターレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作 手順

- 1 キー、またはセンターロックスイッチで車両を解錠します。
- 2 フューエルリッドを開きます。

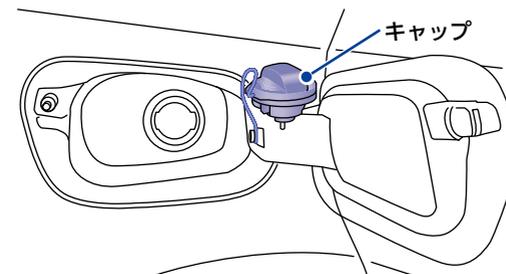
フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



K02179

- 3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドの開
口部に掛けます。



K02180

- 4 給油します。

使用燃料 …………… 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）

- 5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。

- 6 フューエルリッドを閉めます。

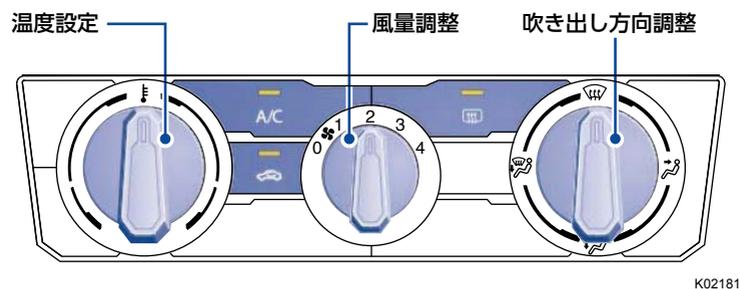
便利な機能

室内装備

マニュアルエアコンディショナー

マニュアルエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。

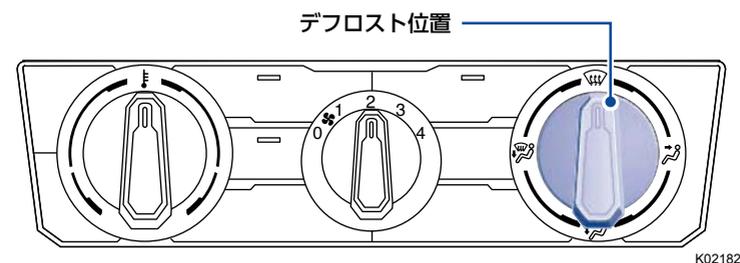


- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。

デフロスト機能

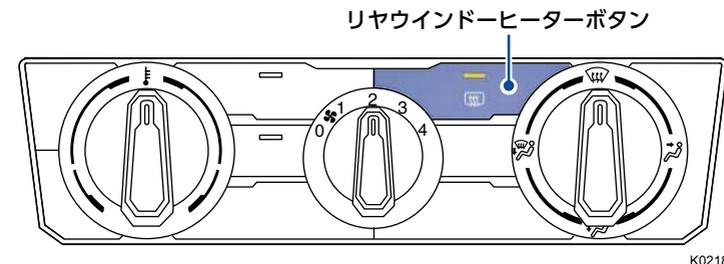
フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。エア吹き出し口ダイヤルをデフロスト位置に合わせると、デフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、冷房システムが ON になります。

早く曇りを取りたいときは、風量調整ダイヤルを右に回して風量を多くしてください。



リヤウインドーヒーター

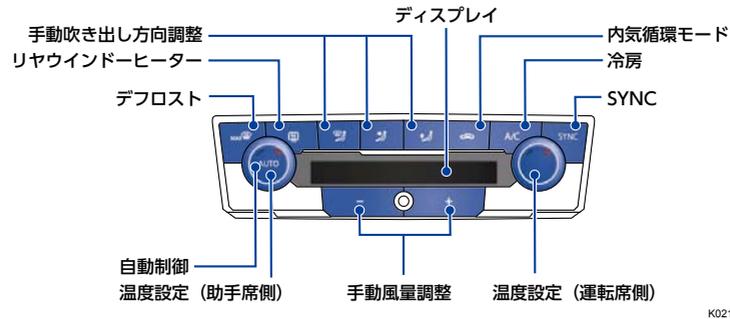
リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。



フルオートエアコンディショナー

フルオートエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。



K02184

- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。
- 自動制御を ON にすると、設定温度に応じて、風量、送風方向を自動的に制御します。手動でこれらを制御すると、自動制御は OFF になります。
- SYNC スイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯して助手席側の設定温度が運転席側と連動します。連動を解除するときは、もう一度 SYNC スイッチを押すか、助手席側の温度設定ダイヤルを回します。

デフロスト機能

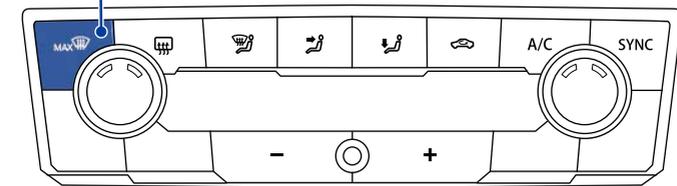
フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。

デフロストスイッチを押すとデフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。

デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、吹き出し口が自動的にフロントウインドー側に設定されます。

また、外気温との温度差があるときは、冷房システムが ON になります。

デフロストスイッチ



K02185

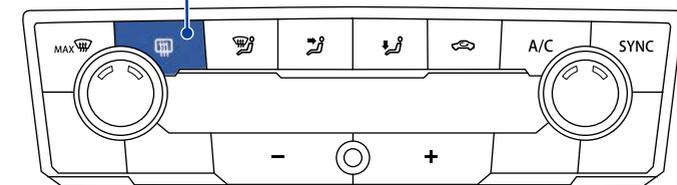
リヤウインドーヒーター

リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。

リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。

リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。

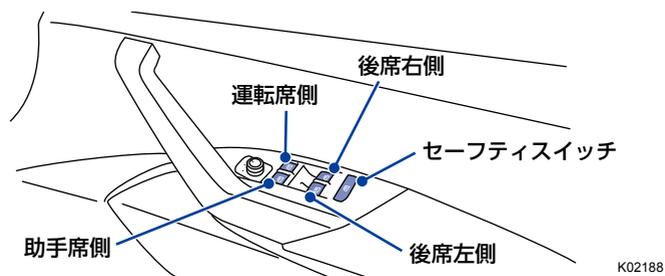
リヤウインドーヒーターボタン



K02186

パワーウィンドー

各ドアにあるパワーウィンドースイッチで、ウィンドーの開閉を操作します。



セーフティスイッチを押すと、後席ドアのパワーウィンドーは作動しなくなります。

アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。

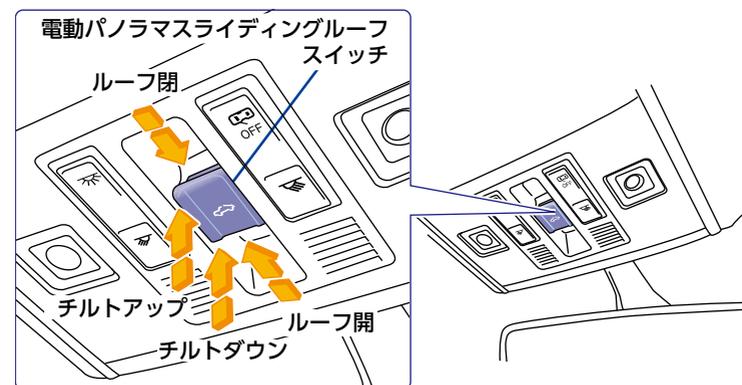
リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

電動パノラマスライディングルーフ

電動パノラマスライディングルーフ

ルーフにあるスイッチで、電動パノラマスライディングルーフの開閉とチルト機能を操作します。



- 1段階目・・・押ししている間、開閉する
- 2段階目・・・自動で全開/全閉する（再度押すと停止）

アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。

リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

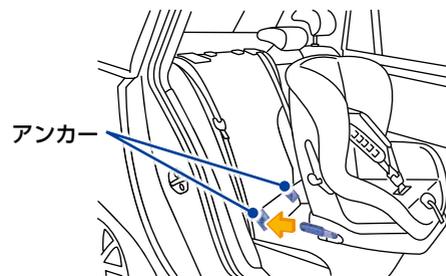
チャイルドシート

チャイルドシートを取り付ける時は、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

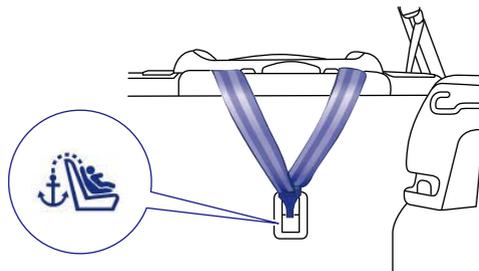
ISOFIX チャイルドシートの取り付け

後部座席には、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。

ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシート座面後方のアンカーに固定します。



トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。



Q0159

エアバッグ

運転席側フロント、助手席側フロント、前席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

助手席側エアバッグの機能停止

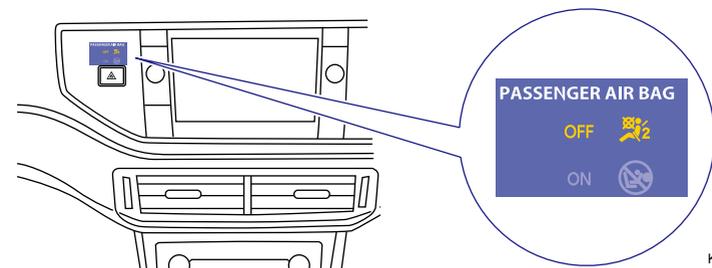
後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。

助手席側ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。



K02190

助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が点灯します。

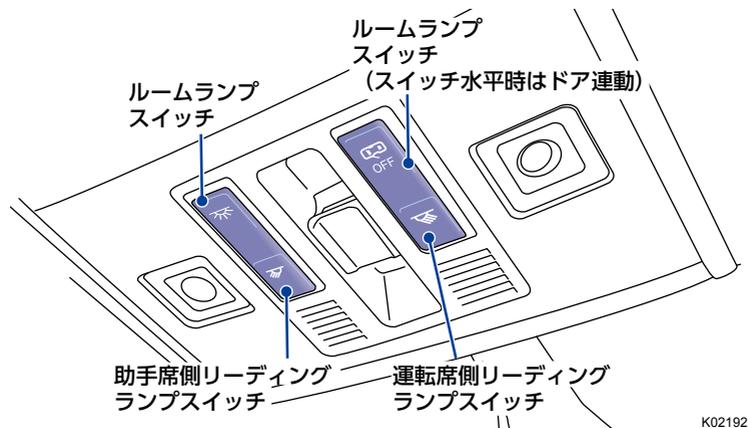


K02191

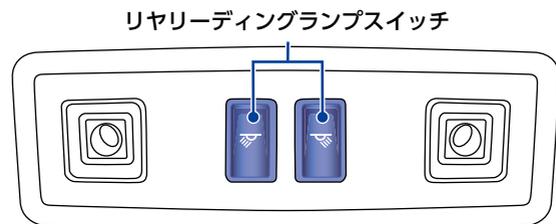
ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリアルームランプがあります。

ルームランプは、独立したリーディングランプとしても点灯することができます。



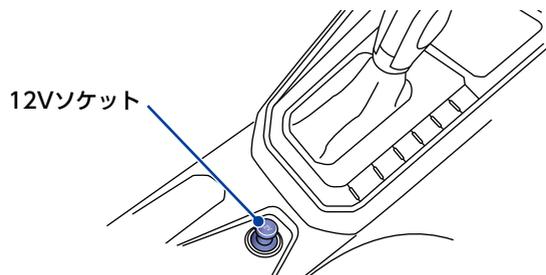
K02192



K02193

12V ソケット

12V ソケットはフロントセンターコンソール内にあります。最大消費電力は 120W です。



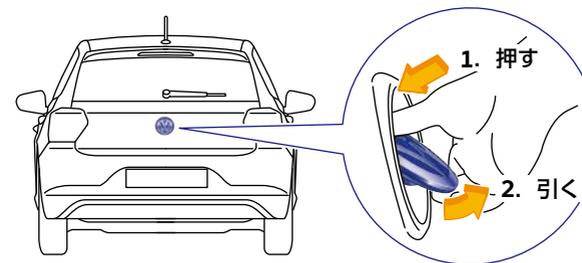
K02194

荷物の積載

ラゲージルーム

テールゲートを開ける

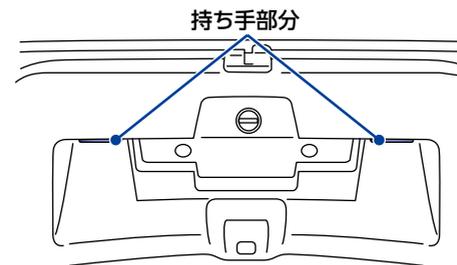
テールゲートオープナー (VW エンブレム) の上部を押して開き、下部を手前に引いてテールゲートを開きます。



K02195

テールゲートを閉める

テールゲート内側の持ち手部分を引いて、テールゲートを閉めます。

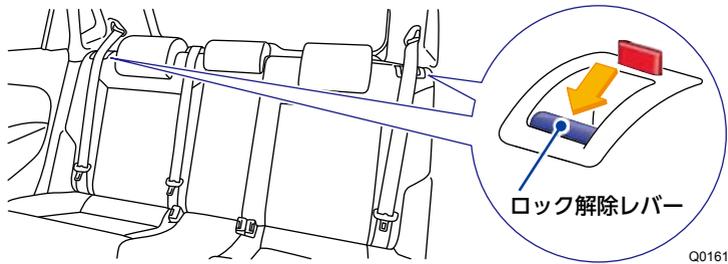


K02196

リヤシートの背もたれを倒す

リヤシートの背もたれを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。

背もたれのドア側上部にあるロック解除レバーを引き、背もたれを前方に倒します。



Q0161

リヤシートの背もたれを戻す

背もたれを元に戻すときは、背もたれを起こし、ロックされるまで後方に押し込みます。

ロックされると、ロック解除レバーが元に戻り、赤い印が見えなくなります。

運転支援

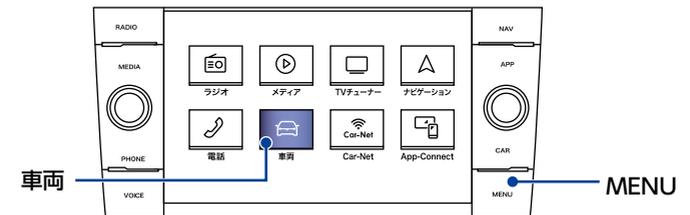
インフォテインメントシステム

車両設定

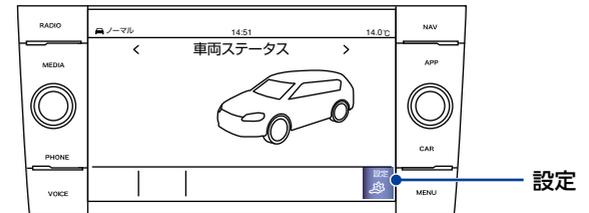
タッチパネルディスプレイを使って、車両の様々な機能の設定をすることができます。

操作手順

- 1 インフォテインメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 車両設定画面が表示されるので、各項目を選択し設定します。



K02197



K02198

車両設定画面では、以下の各種設定を行うことができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
ESCシステム	—	<ul style="list-style-type: none"> 以下のシステムの ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - トラクションコントロールシステム (ASR)
タイヤ	タイヤ空気圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> タイヤモニタリングシステムのリセット操作ができます。
	ウインタータイヤ	<ul style="list-style-type: none"> 速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。
ライト	ライトアシスト	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - オートライトシステム (雨天時) - 車線変更点滅機能 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - トラベルモード (右側/左側通行)
	ルームランプ	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - メーター/スイッチの明るさ - フロントアンビエントライト - ドア内アンビエントライト - フットウェルライト
	「カミングホーム/リービングホーム」機能	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - カミングホーム機能の作動時間 - リービングホーム機能の作動時間
ドライバーアシスト	ACC (アダプティブクルーズコントロール)	<ul style="list-style-type: none"> 前回選択した設定の適用の ON・OFF を切り替えることができます。 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 走行プログラム - 車間距離レベル
	Front Assist (プリクラッシュブレーキシステム)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 事前警告 - 車間距離警告の表示
	ブラインドスポットディテクション	<ul style="list-style-type: none"> ブラインドスポットディテクションの ON・OFF を切り替えることができます。
	疲労検知システム	ドライバー疲労検知システム "Fatigue Detection System" の ON・OFF を切り替えることができます。
	プロアクティブ・オキュパント・プロテクション	プロアクティブオキュパントプロテクションの ON・OFF を切り替えることができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
駐車支援	パークディスタンスコントロール	<ul style="list-style-type: none"> パークディスタンスコントロールの自動作動の ON・OFF を切り替えることができます。 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - フロント/リヤの音量 - フロント/リヤのトーンレベル - パークディスタンスコントロール作動時のインフォテイメントシステムの音量
	後退時衝突軽減ブレーキ機能	<ul style="list-style-type: none"> 後退時衝突軽減ブレーキ機能の ON・OFF を切り替えることができます。
	リヤトラフィックアラート	<ul style="list-style-type: none"> リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能) の ON・OFF を切り替えることができます。
ミラーおよびワイパー	ミラー	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - ドアミラーの後退時位置設定 - 駐車時の格納
	ワイパー	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 自動ワイパー (雨天時) - 後退時のリヤウインドーワイパー作動
開閉	ウインドー操作	<ul style="list-style-type: none"> ウインドーコンビニエンスオープン (コンフォートオープン) の設定をすることができます。
	集中ドアロック	<ul style="list-style-type: none"> ドア解錠の設定をすることができます。 自動施錠の ON・OFF を切り替えることができます。
コンビネーションメーター	—	<ul style="list-style-type: none"> マルチファンクションインジケーターに表示させる項目を選択することができます。
日付と時間	—	<ul style="list-style-type: none"> 時刻や日付などの設定をすることができます。
単位	—	<ul style="list-style-type: none"> 距離や車速などの単位を設定することができます。
サービス	—	<ul style="list-style-type: none"> 以下のデータが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - 車体番号 - 次回の点検整備の時期 - 次回のエンジンオイル交換の時期
工場出荷時設定	—	<ul style="list-style-type: none"> 以下の設定をリセットすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 全ての設定 - ライト - ドライバーアシスト - 駐車支援 - ミラーおよびワイパー - 開閉 - コンビネーションメーター

アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC”

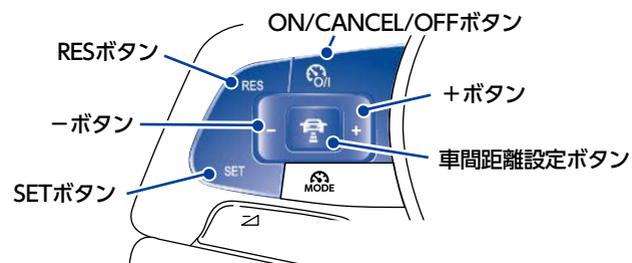
レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。

システムにより減速して停止状態になった後、先行車が約3秒以内に再発進した場合も、車両が自動的に再発進します。



動画を再生

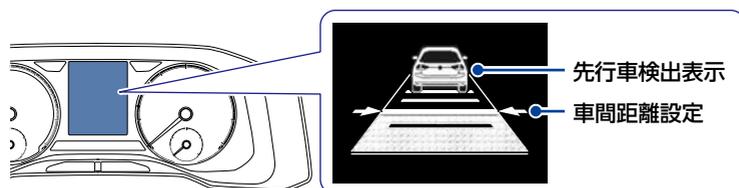
アダプティブクルーズコントロールシステムは、マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



K02199

アダプティブクルーズコントロールシステムが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイに作動状態が表示されます。

先行車検出表示……先行車を検出しているときに表示します。
車間距離設定……現在の車間距離設定を表示します。



K02516

他の機能（ナビゲーションシステム等）を表示させている場合は、ディスプレイ中央下部に小さく表示されます。

アドバイス

車間距離設定は、矢印の位置が下（手前）にあるほど短く、上（奥）にあるほど長くなります。

操作手順

- 1 ON/CANCEL/OFF ボタン を押し、システムを ON（スタンバイ状態※）にします。
- 2 設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。
- 3 車間距離設定ボタン を押し、車間距離を設定します。車間距離は5段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。

※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速や車間距離設定を変更することができます。

設定車速の換えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。

- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。
+ ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。
- ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

車間距離設定の換えかた

車間距離設定ボタン  を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン  を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

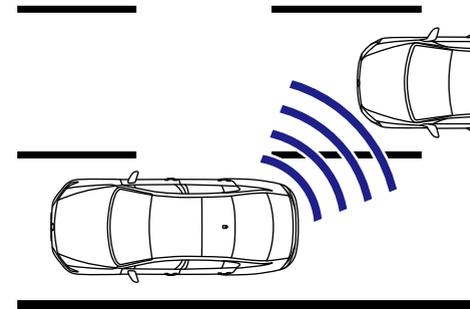
システムの停止のしかた

ON/CANCEL/OFF ボタン  を長押しすると、システムが停止し、設定車速が消去されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ブラインドスポットディテクション (後方死角検知機能)

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）は、リアバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーで、車両後方をモニターします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内の警告灯が点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させると警告灯が点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。この機能は、約 15km/h 以上で作動します。



QM3038

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）の 機能停止のしかた

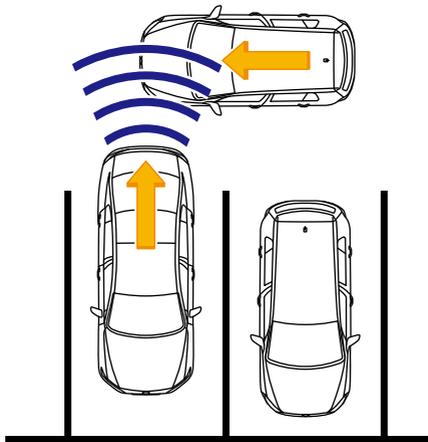
操作 手順

- 1 インフォテインメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“ブラインドスポットディテクション”で「作動」のチェックボックス を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)

リヤトラフィックアラート(後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)は、リアバンパーに取り付けられたレーダーセンサーで、後方を横切る車両をモニターし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、車速1～12km/hでの後退時に作動します。



QM3039

リヤトラフィックアラート(後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)の機能停止のしかた

操作 手順

- ① インフォテインメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- ② ディスプレイの「車両」を選択します。
- ③ ディスプレイの「設定」を選択します。
- ④ 「駐車支援」の“リヤトラフィックアラート”で「作動」のチェックボックス を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

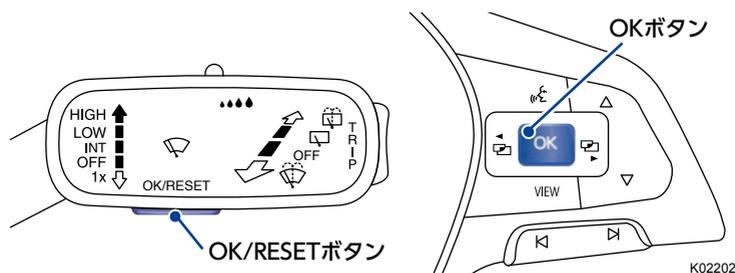
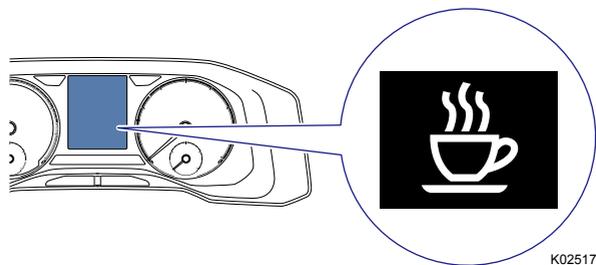
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。



運転パターンのモニタリングは、約 60 ～ 200km/h で走行中に行われます。

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。



ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System” の 機能停止のしかた

操作 手順

- 1 インフォテインメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“疲労検知システム”で「作動」のチェックボックスの を外します。

ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System” を OFF にすることができます。

プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist” (歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付)

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。

レーダーセンサーで先行車や歩行者を検知し、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。



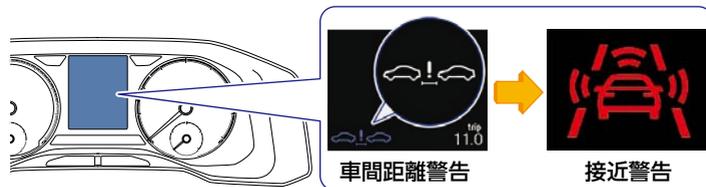
シティエマージェンシーブレーキ機能

車速約 5 ～ 30km/h での走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

歩行者検知システム

車速約 5 ～ 65km/h での走行中には歩行者検知システムが作動し、自動的にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドーワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。



K02518

プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist” の機能停止のしかた

操作 手順

- 1 インフォテインメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“Front Assist (プリクラッシュブレーキシステム)”で「作動」、「事前警告」、「車間警告の表示」をそれぞれ OFF にできます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ESC(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。
ESC（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール）には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS（アンチロックブレーキングシステム）
ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
 - BAS（ブレーキアシストシステム）
ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
 - ASR（トラクションコントロールシステム）※
発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
 - XDS（エレクトロニックディファレンシャルロックシステム）
直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。
- ※：インフォテイメントシステムのディスプレイ上では、「ASR」（ドイツ語表記）と表示されます。

ESC/ASR の機能の切り替え

インフォテイメントシステムによる切り替え

操作 手順

- 1 インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ESC システム」で ASR の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

プロアクティブ・オキュパント・プロテクション

事故の可能性を予測し、早い段階で乗員保護機能の作動に備えるシステムです。

急制動や極端なオーバーステア / アンダーステアによって発生しうる事故の可能性を検出すると、即座にシートベルトのテンションを高めます。
同時にウィンドーを閉じ、万が一の衝突が起きた際、各エアバッグが最大限の効力を発揮できるように備えるシステムです。



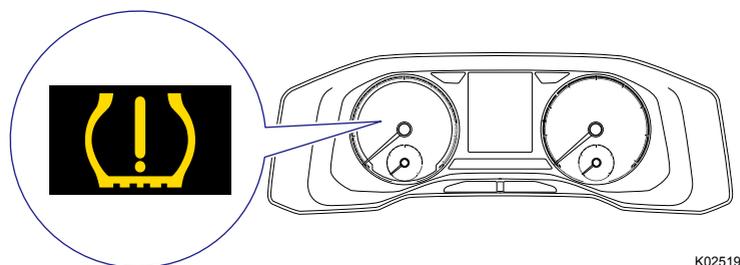
プロアクティブ・オキュパント・プロテクションは、約 30km/h 以上で走行中に作動します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4輪のタイヤ空気圧を点検してください。



K02519

タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

操作 手順

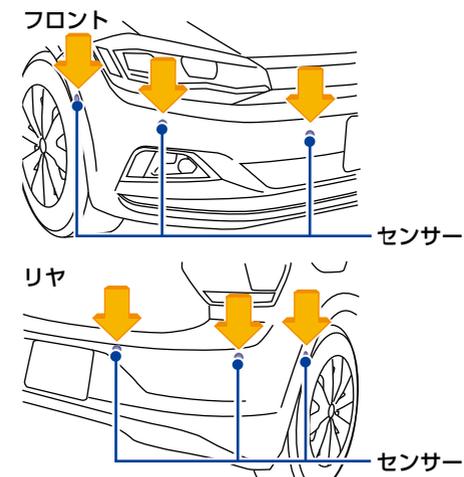
- 1 インフォテインメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「タイヤ」の“タイヤ空気圧警告灯”で「SET」を押します。

現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。

パークディスタンスコントロール

フロントバンパーおよびリアバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。

前進時および後退時に障害物に近づいて衝突の恐れがある場合、自動的にブレーキを作動させ衝突の回避または衝突の被害を軽減させます。

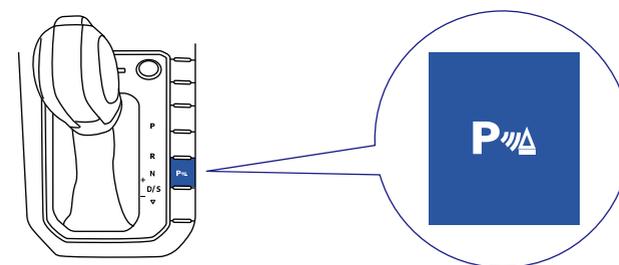


K02205

以下のときに作動します。

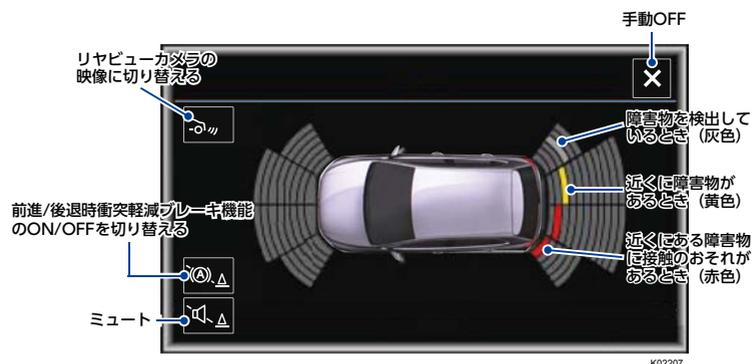
- セレクターレバーを“R”にしたとき
- 車両が後退したとき
- 車両前方にある障害物に、低速で接近しているとき

また、センターコンソール下部のボタンを押すと、手動で作動 / 非作動を切り替えることができます。



K02206

障害物に近づくとピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテインメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。
さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



パークディスタンスコントロールの設定のしかた

操作手順

- 1 インフォテインメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「駐車支援」の“パークディスタンスコントロール”で、パークディスタンスコントロールの自動ONの設定や警告音の音量の調整などができます。

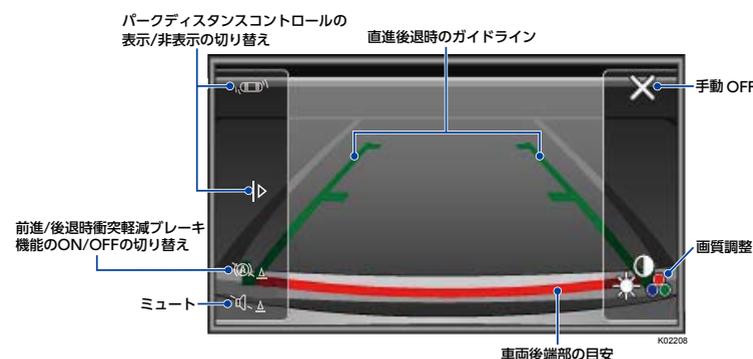
安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リアビューカメラ “Rear Assist”

後退時、インフォテインメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。
カメラはテールゲートのエンブレム内部に格納されています。



セレクターレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。
セレクターレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。

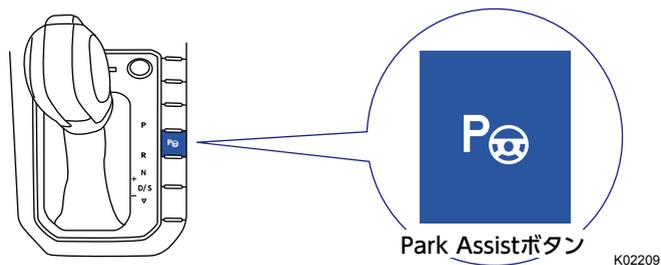


駐車支援システム “Park Assist”

駐車支援システム “Park Assist” は、縦列駐車、後退または前進して横列駐車をする際のステアリング操作を自動で行い、スムーズな駐車を補助します。

縦列駐車からの発進も、同様にシステムがステアリング操作を自動で行い、スムーズな発進を補助します。

運転者はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されるガイドに従って、前進、後退、ブレーキの操作をする必要があります。



アドバイス

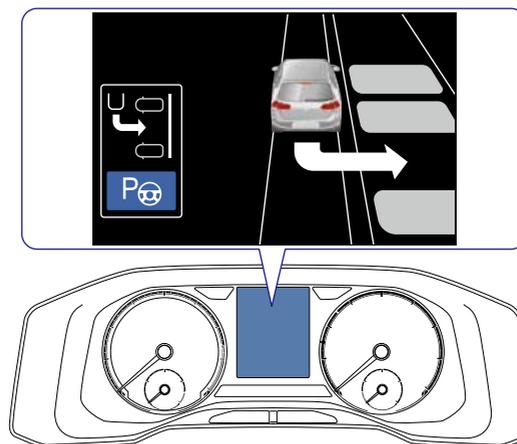
駐車支援システム “Park Assist” は、駐車スペースの駐車している車両を検知して駐車スペースを検知しています。車両が駐車していない駐車スペースでは本機能を使用することはできません。

誤った操作をすると、駐車支援システム “Park Assist” が終了します。終了した場合は操作手順の最初からやり直する必要があります。

駐車のしかた

操作手順

- 1 希望する駐車スペースの少し手前で停車します。
- 2 Park Assist ボタンを押します。
- 3 駐車スペースが検知されるまで、ゆっくり前進します。車両が駐車スペースを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイに下記の図が表示されます。

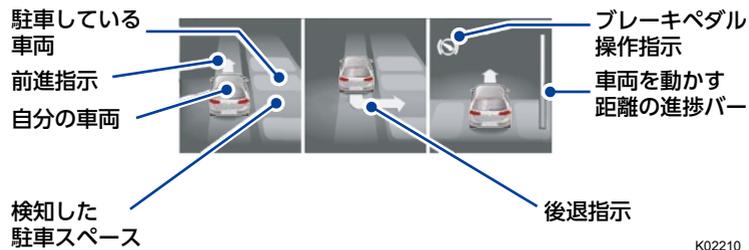


4 Park Assist ボタンを押して、希望する駐車方法を選択します。



QM4048

5 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクトレバー、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



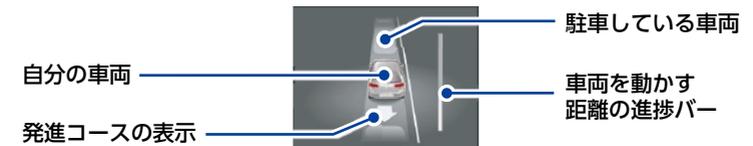
K02210

6 駐車が完了すると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist が終了しました。ステアリングを操作して下さい。」と表示されます。

縦列駐車スペースからの発進のしかた

操作手順

- 1 Park Assist ボタンを押します。
- 2 発進する道路側に方向指示器を操作します。
- 3 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクトレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



K02211

4 縦列駐車スペースから発進できる状態になると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist が終了しました。ステアリングを操作して下さい。」と表示されます。

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に帰属します。本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan



本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発行：2018年2月
印刷：2018年2月
発行番号：181.5J2.P05.70